

しずここ ニュース レター

静岡市
自殺対策情報センター
〒420-0846
静岡市葵区城東町24-1
静岡市保健所 精神保健福祉課内
TEL&FAX:054-209-7260

No.16 H29.3 配信

♡ 3月は「自殺対策強化月間」です

静岡市では、「生きる！を支える」をスローガンとして関係各課・団体とともに様々な自殺対策関連施策を推進しています。

市民一人一人が自身の心の健康を維持することの大切さや、身近な人とのつながり、支え合いに、改めて関心を寄せていただける機会となることを望んでいます。市役所薬庁舎1階フロア展示では、関係団体等の取組みやメッセージを紹介しています。

関係課・関係団体からのメッセージ（抜粋）

皆様の大切な「こころの健康」の保持・増進のために、相談をはじめ様々な業務を行っています。
(こころの健康センター)

法的な問題を抱えている方はいませんか。法テラスが解決のお手伝いをできるかもしれません。
(法テラス静岡)



ハローワークでは仕事を探している皆さんの相談・紹介を行っています。
(ハローワーク静岡)

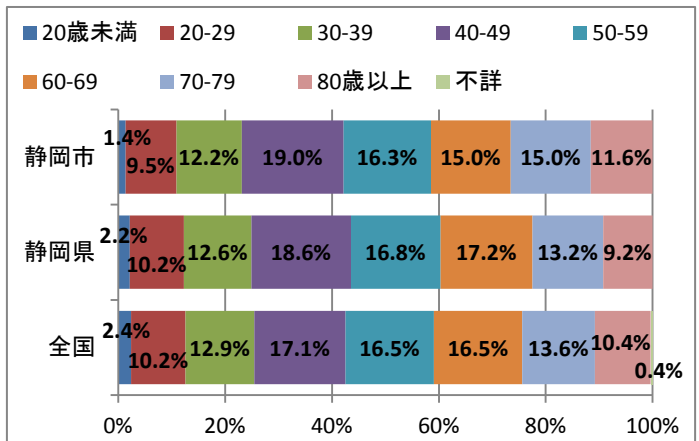
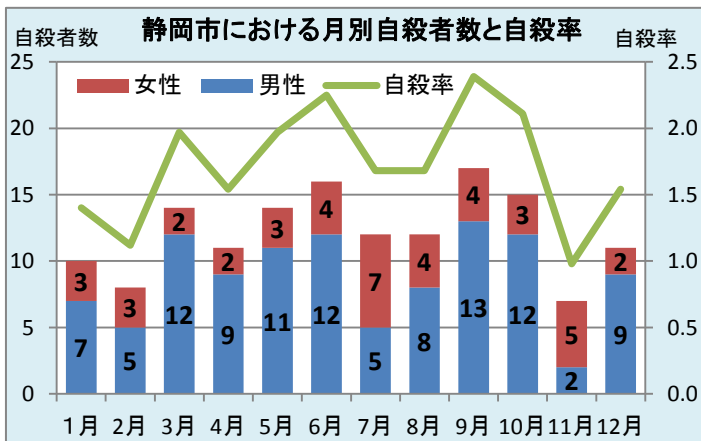
困難を抱える子ども・若者の相談、支援に取り組んでいます。
(青少年育成課)

*「しずここニュースレター」では、自殺対策や心の健康に係る事業に携わる方及び関係者の方々に、静岡市における自殺対策に関する情報を提供していきます。ニュースレターに対する御意見・御要望等ありましたら、お気軽にお寄せください。

静岡市の自殺の現状 平成28年（暫定値）① ※厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」より

平成28年の静岡市の自殺者数は、前年の136人より11人多い147人（暫定値）、自殺率は20.6（暫定値）でした。このうち、男性は105人（自殺率30.3）、女性は42人（自殺率11.5）となっており、例年どおり男性が全体の7割超を占めていました。

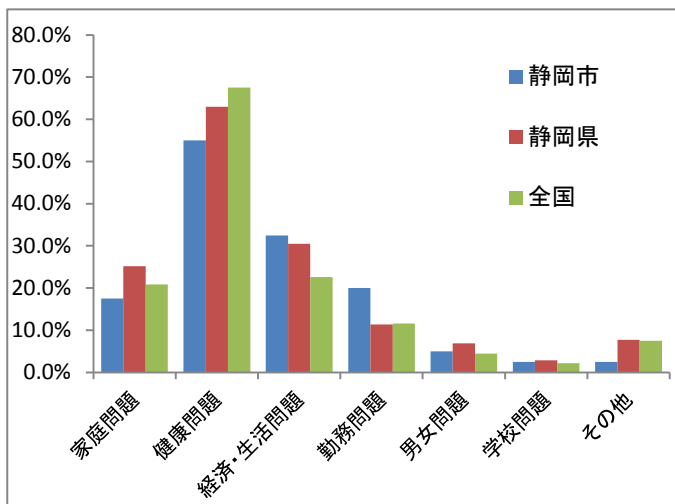
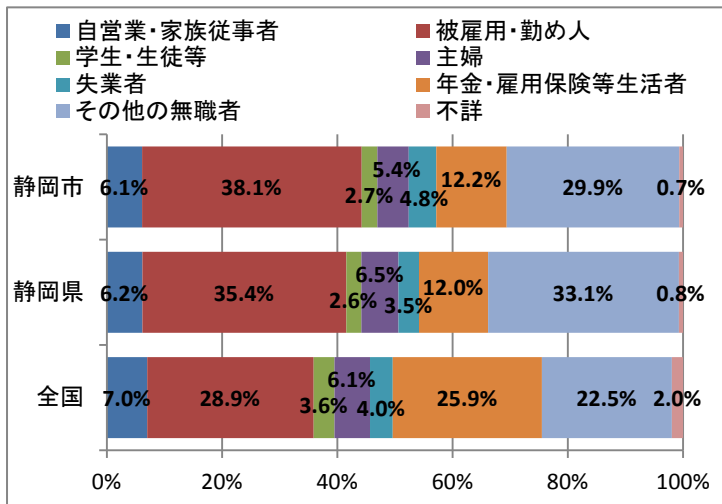
年齢別をみると、静岡市では、全国、県と同様に40歳代の自殺者が最も多くなっていました。全国や県と比較すると、静岡市は70歳代、80歳以上の割合が高くなっていました。



静岡市の自殺の現状 平成28年(暫定値)② ※厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」より

職業別にみると、静岡市では、被雇用・勤め人の自殺者が最も多くなっていました。
 また、全国や県と比較すると、静岡市は被雇用・勤め人の占める割合が高くなっていました。
 原因・動機別にみると静岡市では、全国、県と同様に健康問題による自殺者が最も多くなっていました。
 ただし、全国や県と比較すると、健康問題の割合は市が最も低く、経済・生活問題、勤務問題の割合が高くなっていました。

※平成28年(確定値)については、平成29年度発行のニュースレターにて紹介します。



いきるんのマンガ作品 最優秀賞が決定しました！

身近な人との支え合いやいのちの大切さを考える機会をつくり、作品に込められたテーマを広く市民に発信することを目的として「生きる！を支える」みんなの隊長いきるんを主役にしたマンガ作品を募集しました。その結果、8歳の児童から30歳代の成人まで79作品もの応募がありました。当課職員による一次選考、市民投票による二次選考を経て、最優秀賞1名、優秀賞10名が決定しました！

入賞作品は電子ブックとして、静岡市自殺対策ホームページ「しずこネット」にも掲載されていますので、ぜひご覧下さい！



<http://www.shizu-coco.net/>

検索



✓第2期静岡市自殺対策行動計画がスタートします。

静岡市の自殺対策は、「静岡市自殺対策行動計画」に沿って取り組んでいます。

今年度で現計画が終了し、当初の計画策定以降の自殺総合対策大綱の見直しや社会情勢、最近の自殺の状況、意識調査の結果を踏まえ策定した「第2期静岡市自殺対策行動計画」が平成29年度より始動します。

第2期計画は、9項目の重点施策を設定し、各施策ごとに関係各課、関係機関・団体と連携を強化して様々な取組みを展開し、静岡市における自殺対策を更に推進していきます。

自殺対策に関する市内の相談窓口、相談会・イベント等の情報、その他自殺に関する様々な情報を提供しています。

自殺に関する統計資料をご希望の場合は、静岡市自殺対策情報センターまでご相談ください。



いきるん